



閉会式後にみんなで記念撮影

2月12日、第28回京都府民総合体育大会市町村対抗駅伝競走が福知山市三段池公園を出発決勝とする全8区間、約36kmのコースで行われました。

大会には京都府内の38市町村272人が参加し、南丹市からは旧園部町・旧八木町・旧日吉町・旧美山町より各1チーム出場しました。

結果は、園部町10位、八木町15位、日吉町24位、美山町28位と健闘しました。

(2/12 市町村対抗駅伝・福知山市)

「たすきをつなぎ、健闘」

「チームワークで新記録！」

(2/22 富本小大なわとび大会・八木町)

2月22日、八木町の富本小学校(加藤芳樹校長、133人)で、毎年3学期に取り組んでいる大なわとびの大会が行われました。

全校生徒が7チームに分かれて1月から練習を始めました。大会では跳んだ回数と、1月からどれだけ記録が伸びたかを競いました。今年は338回跳んだチームが新記録を出し、児童は日頃の練習の成果を発揮しました。



「テンポよく跳んでいこう」

「残り10秒、2点リードを死守！」

(2/18 第10回ミニバス大会・野洲市)

2月18日、19日に滋賀県野洲市で「第10回びわこフレンドカップ・ミニバス大会」が開催されました。

近畿一円から各府県を代表する強豪チームが集まる中、京都府代表として参加した日吉町スポーツ少年団・ラビットが、大熱戦の結果、4位ゾーンで見事優勝を果たし、敢闘賞を受賞しました。

このような大舞台で、接戦の末に好成績を残せた選手たちは、試合終了を告げるブザーが鳴ると、抱き合って感激の涙を流しました。応援に声をからしたコーチ、保護者の喜びもひとしおでした。

「和気あいあいの雰囲気、源平合戦」

(2/4 第15回かるた大会・園部町)



「目の前にあったのに。」

2月4日、園部町小桜町のこむぎ山健康学園で、園部町文化協会(高木茂会長)主催の「かるた大会」が開かれ、市内の子どもからお年寄りまで約40人が参加しました。

日本の古典文学に触れ、市民の交流の機会になればと毎年開かれており、今年で15回目。大会は3人1組のチーム同士による「源平」方式で対戦。参加者は、初心者から上の句を聞くだけで札を取る上級者まで様々でしたが熱戦を繰り広げました。



「幹生懸命が結果につながったよ」